

北陸新幹線関連公共施設等整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体	市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2~3/5以内											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀間の令和6年春の確実な開業に向けて、新幹線沿線集落からの理解と協力を得て、工事を円滑に進捗させる必要がある。						【工事の進捗状況】 ・土木工事から設備工事への引渡し:39工区/39工区 ・令和6年3月に北陸新幹線(金沢・敦賀間)が開業						
[事業目的]												
新幹線沿線集落の理解を促進するため、鉄道・運輸機構の機能補償工事や国・県の既存補助事業で対応できない地元要望に対し、市町が行う地元支援事業へ県が補助することにより、円滑な工事進捗を図る。												
[事業内容]												
(1)補助対象事業および補助率 市町別の「新幹線関連公共施設等整備計画」に位置付け、かつ、県が採択した事業 ①道路、河川、公園施設、用排水施設等の整備・・・1/2以内 ②集会施設の整備・・・・・・・・・・1/2以内 ③分断された不整形農地の整備・・・・・・・・3/5以内 (2)補助対象範囲 新幹線沿線 89集落 (3)事業実施期間 平成26年度～令和6年度(新幹線開業の1年後) ただし、各集落の用地取得率が概ね50%以上となった日以降から着手												
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		市町が沿線集落から提出されている各種要望の調整を行い、鉄道・運輸機構の機能補償工事や既存補助事業では対応できない市町が行う地元支援事業に対して、県が支援する。				他県の状況		長野県 H4年度制度創設 補助金額23.4億円(延長116.2km) 石川県 H11年度制度創設 補助金額14.8億円(延長31.6km) 富山県 H12年度制度創設 補助金額 8.6億円(延長90.2km)				

北陸新幹線関連公共施設等整備事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之				
事業主体		市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		補助					経過年数	11 年							
補助率		1/2~3/5以内													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等] (単位:千円)															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		240,370	199,968	149,284	153,246	-	事業期間終了のため								
2月現計予算額の推移		199,448	173,429	111,449	153,246	-									
決算額の推移		115,840	201,872	134,121		-									
前年度までの 主な増減理由		各年度、市町からの申請額によって増減													
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	用地取得率	(目標)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)		取得確実な用地を含む率						
		実績	100	100	100	100	100								
活動指標	沿線市町が行う地元支援への補助	(目標)							市町と連携・協力して迅速かつ円滑に沿線集落の要望に対応することが目標であり、活動指標を数値で表すことができない。						
		実績													
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
用地取得率 100% 成果指標について、R6年度も目標達成。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	153,246				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

北陸新幹線早期全線開業PR事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、委託												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 交流を広げる基盤整備]]				関連する県の計画等								
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線は大阪まで繋がってこそ、交流人口の増加や地域経済の活性化といった効果が最大限発揮されるものであり、1日も早い全線開業を実現する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・全国の交流人口 257.9百万人 ⇒ 277.0百万人(開業後) ・関西と北陸の交流人口 18.5百万人 ⇒ 29.3百万人(開業後)							
[事業目的] 1日も早い大阪までの全線開業を実現するためには、関西を中心とした沿線住民に、北陸新幹線の必要性を理解いただき、早期整備を求める機運を高めることが不可欠となる。このため、福井・敦賀開業および大阪までの全線開業による整備効果を継続的にPRし、沿線地域の機運醸成を図る。													
[事業内容] (1)関西における情報発信イベント等の開催 ・京都駅・大阪駅周辺等において、福井・敦賀開業および全線開業による整備効果を発信するイベントを開催 (2)動画配信サービスを活用したWEB広告や新聞広告の実施 ・福井・敦賀開業や全線開業の効果、小浜京都ルートの実用性を分かりやすく説明する動画の作成 ・沿線住民をターゲットとしたWEB広告の配信や新聞広告の実施													
[受益者] 関西と北陸の交流人口						[想定される受益者数] 18.5百万人⇒29.3百万人(開業後)							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 大阪・関西万博を契機とした誘客プロモーション事業 (役割分担) 事業が重複しないよう、一部のイベントについては上記事業予算により実施。					
市町との連携状況						他県の状況							

北陸新幹線早期全線開業PR事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、委託												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	42,270	21,135			21,135	新しい地方経済・生活環境創生交付金							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					20,821	20,695	42,270	・WEB広告配信や新聞広告等事業拡充による増額					
2月現計予算額の推移					20,821	20,695							
決算額の推移					20,610								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・年賀はがきによる県民からの情報発信の廃止 ・他事業統合による増額 											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	北陸新幹線全線開業	(目標) 実績						着工	開業	1日も早い全線開業を政府・与党に要望している			
活動指標	関西で開催するイベント数	(目標) 実績			(35) 45	(35) 44	(35)			京都・大阪事務所(30件)、北陸新幹線建設促進同盟会(3件)、本事業で実施する情報発信イベント(2件)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績 大阪駅と京都駅でPRイベントを開催(令和6年11月) 大阪駅、新大阪駅、松井山手駅、京都駅に広告を掲出 イベントの開催件数の目標達成(京都・大阪事務所39件、北陸新幹線建設促進同盟会3件、情報発信イベント2件) ・要望活動回数…8回 (5/22,6/7,7/2/,7/25,8/26,9/19,11/14,1/21) 					福井・敦賀開業による北陸新幹線に対する認知度の向上を踏まえ、動画等により分かりやすい情報発信を実施				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									□ 継続	□ 休止	□ 完了		
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

北陸新幹線敦賀駅での情報発信等推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	委託												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 交流を広げる基盤整備]				関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業以降、新たに発生する敦賀駅での乗り換え(新幹線⇄在来線特急等)という乗客の心理的・身体的負担を軽減する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・北陸新幹線敦賀駅の乗降客約25,500人程度/日(開業後)							
[事業目的] 福井・敦賀開業に伴い、新幹線敦賀駅では非常に多くの旅客が乗り換えコンコース等を通過するため、北陸三県の魅力の発信と、乗り換え客を対象としたふくいはぴコインを獲得できるキャンペーンを実施することにより、県民や県外からの旅客に新たな発見や楽しみの機会を提供する。													
[事業内容] (1)乗り換え客に大型3面LEDビジョンで北陸三県の魅力を発信 ・北陸新幹線敦賀駅の乗り換えコンコース内(2F新幹線柵内側)にJR西日本が設置する大型3面LEDビジョンで、北陸三県の魅力を発信 (2)乗り換え客が抽選でふくいはぴコインを獲得できるキャンペーンを実施 ・乗り換え客が乗換改札通過時等に、自身のスマートフォンを使用して抽選でふくいはぴコインを獲得できるキャンペーンを実施													
[受益者] 北陸新幹線敦賀駅での乗降客						[想定される受益者数] 25,500人/日、9.3百万人/年(敦賀開業後)							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	事業内容(2) 【R6】あわら市が当該キャンペーンとのコラボ企画を実施 (当選者に対し、あわら市内で使用できるはぴコイン千円分を進呈) 【R7】駅設置市が事業費の一部を負担					他県の状況		事業内容(1)については、富山県・石川県と連携して実施					

北陸新幹線敦賀駅での情報発信等推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	新幹線建設推進課	課長名	林 裕之	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度	
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,707			2,635	2,072	県内駅設置市からの諸収入						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				11,651	4,707	・事業内容精査による減(キャンペーン期間の縮小等)						
2月現計予算額の推移				11,651								
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ふくいはぴコイン進呈人数 (目標) (累計) 実績			(7,200)	(3,300)			乗換え時に即時抽選で「ふくいはぴコイン」を獲得した人数を成果指標として設定 【R6】80人(1日当たりの当選人数)×90日(期間)=7,200人(目標) 【R7】55人(1日当たりの当選人数)×60日(期間)=3,300人(目標)				
活動指標	キャンペーン期間 (目標) 実績			(90)	(60)			即時抽選に参加する機会の提供期間を活動指標として設定 【R6】夏休み、北陸DC、開業1周年を考慮して設定 【R7】大阪・関西万博期間を考慮して設定				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
事業内容(1) ・ビジョン放映映像を16本制作 事業内容(2) ・第1弾キャンペーン(R6.8.8~9.1 25日間) 抽選参加者総数 3,299人 はぴコイン進呈総数1,248人 ・第2弾キャンペーン(R6.11.9~R7.1.27 75日間) 抽選参加者総数87,610人 はぴコイン進呈総数5,004人 ・第3弾キャンペーン(R7.3.15~3.31 17日間)実施中				引き続き、敦賀駅利用者が乗り換え等を楽しめる工夫を継続していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	6,944	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		